安全データシート(SDS)

1 化学品及び会社情報

製品名 : スズキフロントフォークオイル 36C

会社情報

会社名 : スズキ株式会社

住所 : 静岡県浜松市南区高塚町 300

電話番号 : 053-440-2061

緊急連絡先 :

推奨用途及び使用上の制限 : 潤滑油

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 : GHS 区分に該当する項目はない

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分 2

環境に対する有害性

水生環境有害性(慢性) : 区分 3

※上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「区分外」又は「分類できない」である。

GHS ラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 強い眼刺激
長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

[安全対策] : 取扱後は手などをよく洗うこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急措置] : 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合:医師の診断／手当てを受けること。

[廃棄] : 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

他の危険有害性 : 情報なし

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

組成および成分情報

No.	化学名又は一般名	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	濃度又は濃度範囲 (wt.%)
1	水素処理軽パラフィン系石油留分	64742-55-8	情報なし	94-97
2	ジンクジチオフォスフェート	68649-42-3	情報なし	1.5-3
3	メチル＝メタクリラート重合物	9011-14-7	(6)-524	1.5-3

4 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の診断／手当てを受けること。
呼吸が停止している場合、および呼吸が弱い場合は、人口呼吸を行い医師の診断／手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
ただちに医師の診断／手当てを受けること。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

最も重要な急性および遅発性症状 : 眼に入った場合;強い眼刺激
皮膚についた場合;脱脂、皮膚炎

応急措置をする者の保護 : 救護の際に付着物が目や皮膚にばく露しないように、必要に応じて保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項 : 情報なし

5 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末、二酸化炭素、泡

使ってはならない消火剤 : 棒状注水

特有の危険有害性 : 火災によって刺激性または毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法 : 火災発生場所の周辺への関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能な容器は、速やかに安全な場所へ移動する。
延焼の恐れのないよう水噴霧で周囲の容器、施設等を冷却すること。
消火作業は風上から行うこと。
周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。

消火を行う者の保護 : 消火活動の際は、適切な保護具(耐熱手袋、保護眼鏡、保護マスク、空気式呼吸器、耐熱保護衣等)を着用すること。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏出した場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立ち入りを禁止し、危険区域での火気使用を禁止する。
漏出時の処理を行う際には、適切な保護具(第 8 項参照)を着用すること。
全ての着火源を取り除くこと。
漏出物に触れたり、その中を歩いたりしないこと。
ミスト、蒸気を吸入しないこと。

屋内の場合、立ち入る前から処理が終わるまで十分に換気を行う。

環境に関する注意事項 ： 河川、下水道、土壌に排出されないように注意する。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 ： 危険で無ければ漏出を止める。
大量の漏出は土砂等で拡大防止を図り、スコップなどで空容器に回収する。
少量の漏出は乾燥した土や砂、不燃材料に吸収させ、空容器に回収する。
回収物は「13. 廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。

二次災害の防止策 ： 付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。
着火した場合に備え、消火器などを準備すること。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 ： 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、適切な保護具を着用すること。

局所排気・全体換気 ： 室内で使用する場合は、密閉系で使用するか、適切な防爆型の局所排気、全体換気を備えた換気の良い場所で作業を行う。

安全取扱注意事項 ： 熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を接地しアースを取ること。
防爆型の機器、装置を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
眼、皮膚への接触を避けること。
取扱い後は手や顔をよく洗うこと。

保管

技術的対策 ： 保管場所には取扱いに必要な採光、照明などの設備、換気の設備を設けること。

適切な保管条件 ： 火気厳禁。
密閉容器で保管し、直射日光を避け、換気の良い場所で保管すること。

混触危険物質 ： 「10. 安定性及び反応性」を参照。

容器包装材料 ： 製品容器で保管すること。破損の無い包装を使用すること。

8 ばく露防止及び保護措置

管理濃度 ： 未設定

許容濃度

日本産業衛生学会（2016） ： 鉱油ミストとして 3 ㎎/m^3

ACGIH（2016） ： 鉱油として、金属加工液除く(Mineral oil, excluding metal working fluids)
純粋、高度精製されたもの（Pure, highly and severely refined）;
TLV-TWA 5mg/m^3（吸入性画分・蒸気）
＊未精製油（Poorly and mildly refined）については、すべてのばく露経路で可能な限り低い濃度に注意深く管理すべきである（Exposure by all routes should be carefully controlled to levels as low as possible.）とされている。

設備対策 ： 取扱い場所の近くに手洗い、洗眼および身体洗浄のための設備を設置し、その位置を明確に示す。
必要に応じて局所排気または全体換気を行うこと。

保護具

呼吸器保護具 ： 適切な呼吸器保護具（有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等）を着用すること。

手の保護具 ： 適切な不浸透性保護手袋を着用すること。

眼の保護具 ： 適切な保護眼鏡（側板付保護眼鏡、ゴーグル型、保護面等）を着用すること

皮膚及び身体の保護具 ： 適切な帯電防止の保護具（長袖保護衣、安全靴等）を着用すること。

衛生対策 ： 取扱う時に飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護具は定期的に点検すること。

9 物理的及び化学的性質

外観（物理化学的状態、形状、色など）	：	透明褐色液体
臭い	：	特異臭
臭いの閾値	：	情報なし
pH	：	対象外
融点・凝固点	：	情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	：	初留点　356℃
引火点	：	200℃以上（COC）
蒸発速度	：	N-Butyl Acetate より小さい
燃焼性	：	情報なし
燃焼範囲の上限・下限	：	情報なし
蒸気圧	：	情報なし
蒸気密度	：	空気より重い
比重（密度）	：	約 0.869g/ml（29.5℃）
溶解度	：	水；不溶、炭化水素溶媒：可溶
n-オクタノール／水分配係数	：	情報なし
自然発火温度	：	情報なし
分解温度	：	情報なし
動粘度	：	36.0-37.0 cSt（40℃）
その他の情報	：	情報なし

10 安定性及び反応性

反応性及び化学的安定性 ： 通常の取扱い条件においては安定である。

危険有害反応可能性 ： 通常の取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
強酸化剤、強酸、強アルカリと反応する。

避けるべき条件 ： 直射日光、高温へのばく露、火気厳禁。

混触危険物質 ： 酸、塩基、アルカリ金属水酸化物、酸化剤、硝酸塩類。

危険有害な分解生成物 ： 加熱によって刺激性または毒性のガス(CO、CO_2 等)を発生するおそれがある。

11 有害性情報

急性毒性(経口)	:	情報なし
急性毒性(経皮)	:	情報なし
急性毒性(吸入)	:	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	:	十分なデータがなく分類できない。 皮膚に触れると脱脂する。長期間あるいは繰り返し接触した場合、脱脂による皮膚炎を起こす可能性がある。 成分データ(ジンクジチオフォスフェート) GHS 区分 2(皮膚刺激性)。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	成分データから区分 2 と分類した。 成分データ(ジンクジチオフォスフェート) GHS 区分 1(眼損傷性)。
呼吸器感作性	:	情報なし
皮膚感作性	:	情報なし
生殖細胞変異原性	:	情報なし
発がん性	:	基油並びに添加剤の類似品は、動物試験にて発がん性は示されなかった。 成分データ(水素処理軽パラフィン系石油留分) IARC では鉱油について、高度精製油をグループ 3(ヒトに対する発がん性は分類できない)、未精製および半精製グループ 1(ヒトに対して発がん性を示す)に分類されている。
生殖毒性	:	情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:	情報なし
吸引性呼吸器有害性	:	40℃での動粘性率が 20.5 ㎟/s(cSt)を超えているため GHS 区分外。
その他	:	情報なし

12 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	:	情報なし
水生環境有害性(慢性)	:	成分データから GHS 区分 3 と分類した。 成分データ(ジンクジチオフォスフェート) GHS 区分 2(長期にわたり水生生物に毒性)
残留性・分解性	:	易生分解性でないと推測される。
生体蓄積性	:	情報なし
土壌中への移動性	:	情報なし
オゾン層への有害性	:	モントリオール議定書の付属書に列記されている成分を含まない。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	:	廃棄の際は、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合は、該当する業者に委託して処理を行うこと。
汚染容器および包装	:	容器は関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること

14 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送	:	ADR/RID の規定に従う。
海上輸送	:	IMO の規定に従う。
航空輸送	:	ICAO /IATA の規定に従う。
国連番号	:	非該当
国連分類	:	非該当
輸送品名	:	非該当
海洋汚染物質	:	非該当

国内規制

陸上規制情報	:	消防法に従う。 消防法危険物 第 4 類第 4 石油類 非水溶性
海上規制情報	:	船舶安全法に従う。
航空規制情報	:	航空法に従う。
輸送時の特定の安全対策および条件	:	輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめる。 落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 直射日光及び高温下での輸送は避ける。 その他関係法規の基準に従い輸送を行う。
緊急対応時指針番号	:	―

15 適用法令

労働安全衛生法	:	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 鉱油(政令別表第 9 の 168)
毒物及び劇物取締法	:	非該当
化学物質排出把握管理促進法	:	非該当
消防法	:	消防法危険物 第 4 類第 4 石油類 非水溶性

16 その他の情報

参考文献:

1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, (4th., 2011), UN
2) JIS Z 7252:2014 および JIS Z 7253:2012
3) NITE GHS 分類データ
4) NITE CHRIP (http://www.safe.nite.go.jp/japan/sougou/view/SystemTop_jp.faces)
5) ECHA Home Page (http://echa.europa.eu/information-on-chemicals)
6) メーカ提供 SDS

【注意】

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
本製品は、この安全データシートをご参照の上、使用者の責任において取り扱って下さい。
また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

[会社情報]

販売者：熊本中央スズキ自動車販売(株)
所在地：熊本県熊本市北区飛田4-6-51
TEL:096-345-4102